

2010年 第1回雑木林研究会オープンセミナー 「木育と雑木林」…樹と木と気、つながりを育てる

「木育（もくいく）」という言葉を知ったことがありますか。2004年、北海道で生まれたこの言葉が、今、全国に飛び火しています。「木育」とは何でしょうか。どこへ向かっているのでしょうか。そんな素朴な問いかけから、このセミナーの企画は始まりました。

2009年、森林環境税による「あいち森と緑づくり事業」が始まりました。全国各地でも森林や里山の再生の動きは急テンポで進んでいますが、その現場ではどこも困難な課題に直面しています。そんな時、「木育」の活動には、木を使う生活の見直しや人づくりからじっくり取り組みましょうというメッセージが聞こえます。地球環境問題として緊急性が求められる「温暖化防止策」や「生物多様性保全」などを横目に見ながら、足元から取り組む地域の森づくり、木づかい活動や、新たな里山文化づくりを目指す方向が見えます。

まずは今回、「木育」に関心のある方々の出会いの機会をつくりたいと考えています。その「木育」が多様な樹（森林）と木（木材）の活動をつなぎ、人の気（想い）と気（動機）をつないでいけたら…そんな期待を抱いています。皆様のイメージする「木育」を持って、気軽にご参加ください。

※木育とは……木育ファミリー：<http://www.mokuiku.net/index.htm>

■日時：2010年2月7日（日）13:30～16:30

■場所：玄々研修センター会議室（1F、木文化研究所隣）……別図参照
〒451-0081 名古屋市西区名塚町 1-77 TEL052-522-3838 (木文化研究所)

※できるだけ公共交通機関をご利用ください。地下鉄「鶴舞線」庄内通駅下車、徒歩7分程度

■定員：40名程度（先着順、2月1日までに申込みをして下さい。）

■会費：1,000円（オープンセミナーのみ）※雑木林研究会員は無料

★オープンセミナー

・13:30～ 講演&ワークショップ

「木育・木とふれあい、木に学び、木と生きる」

煙山 泰子さん「KEM工房」<http://www.h3.dion.ne.jp/~kem/>

・15:10～ 座談会「木育と雑木林—樹・木・気、つながりを育てる」

煙山 泰子さん（木育ファミリー代表、KEM工房主宰）

久津輪 雅さん（グリーンウッドワーク協会、森林文化アカデミー講師）

「グリーンウッドワーク協会」<http://japan-craft.net/greenwoodwork/>

白石 公二さん（雑木林研究会、子ども創作工房地木游人主宰）

★交流会

・17:00～ 交流会（講師と参加者との出会い・交流の場）

会費 1,500円

オープンセミナー・交流会別に申込みをお願いします。（申込み締切り：2月1日）

○申込み・問合せ：森由紀夫（木文化研究所）FAX052-522-3838 E-mail ymori@yamazato.jp

※当日は雑木林研究会総会（AM11:00～）、愛知雑木林連絡会総会（AM12:00～）も同じ場所で行いますので、興味のある方はご参加ください。

○雑木林研究会事務局（担当：真弓）Tel&Fax（052）262-3181 E-mail：k-mayumi@aurora.ocn.ne.jp

■木育とは

(木育ファミリー
H.P.より)

木とふれあい、木に学び、木と生きる

木育は豊かな森林と木材に恵まれた北海道生まれの新しい言葉です。それは、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。

私たちのまわりでは一枚の紙から家具や建物にいたるまで、木から生まれたものがたくさん使われています。でも、材料となった木やその木が生きてきた森を想像できる人はどれだけいるのでしょうか？

木育は木とのかかわりを通して、私たちも自然の一部であり多くの生命と共存しながら生きていることを実感し、未来へつなげていく取り組みです。

木育のめざすもの

●五感とひびきあう感性

木と五感でふれあい、手でつくり、考える経験をとおして人と自然に対する「思いやり」と「優しさ」を育みます。

●共感できる心

身近な人と木で遊び、木に学び、モノをつくる経験を通じて楽しさや喜びを共感し、地域や社会、産業への関心につなげます。

●地域の個性を生かした木の文化

地域の森や木の良さを見直し、木が身近にある北海道ならではの暮らしや文化を提案します。

●人と自然が共存できる社会

循環利用が可能な資源である木の可能性や、森と木に携わる仕事の素晴らしさを伝え、持続可能な未来へ向けた社会をめざします。

■煙山 泰子さんのプロフィール

(KEM 工房 H.P.より)

1955 札幌生まれ
1977 北海道教育大学 特設美術科(木材工芸)卒業
1979 KE M 工房開設
1984 津別町木材工芸協同組合にて木工品開発指導を開始。以後、2004 まで「木による街づくり」に協力
2005 北海道 木育推進プロジェクト
2006 帯広市図書館・児童コーナー総合デザイン
現在 KEM 工房 主宰
木育ファミリー 代表
北海道デザイン協議会員
※「木育の本」出版(2008 北海道新聞社発行)

■久津輪 雅さんのプロフィール

(岐阜県森林文化アカデミーH.P.より)

NHK 報道ディレクターとして「クローズアップ現代」「NHK スペシャル」などの番組制作に携わった後、飛騨高山にて木工を修行。2001 年より渡英。間伐材を用いた環境に優しい家具づくりを実践する David Colwell と出会い、試作担当職人として働く。スコットランドの森林保護団体 Woodschool に移り、間伐材利用の小物、家具制作を担当。2006 年帰国。NPO 法人グリーンウッドワーク協会顧問として、足踏みろくろなど人力の道具で生木を削る、新しいものづくりを展開中。
岐阜県森林文化アカデミー講師。

■会場案内……玄々(玄々化学工業株式会社)研修センター内 1F 会議室

